

令和7年度第1回奈良県公立大学法人奈良県立医科大学評価委員会議事概要

開催日時 令和7年7月29日(火) 13:30~15:30

開催場所 奈良県立医科大学 畝傍山キャンパス 講堂図書棟3階 応接室

出席者

(委員) 垣内委員長、竹田委員、任委員、町田委員、松村委員

(法人) 細井理事長、枘井副理事長、木村理事、嶋理事、吉川理事

その他関係課職員

(事務局) 中岡医療政策局次長、瀬尾病院マネジメント課長、西川病院マネジメント課長補佐

その他病院マネジメント課職員

議 題

(1) 第3期中期目標期間の業務の実績に関する評価について

(2) 役員報酬等の支給基準の変更について

公開・非公開の別

公開：傍聴者 0人、報道関係者 0人

議事内容

(1) 第3期中期目標期間の業務の実績に関する評価について

・法人より「資料1 第3期中期計画業務実績等報告書」の説明

[垣内委員長]

資料1 54 ページ「④超過勤務の縮減」の看護師について、過年度よりも最終年度の超過勤務時間が長くなっているが、何故B評価となるのか。

[医大]

第3期中期目標期間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、毎年度の超過勤務時間の増減が激しかったため、前年度との比較ではなく、平成30年度(第2期中期目標の最終年度)の実績を基準として、そこから毎年度1%ずつ縮減するという目標としている。例えば、令和6年度であれば、平成30年度から▲6%が目標になる。評価方法について、改めて資料を提供させていただく。

[松村委員]

資料1 21 ページ「⑤糖尿病診療ネットワーク専門医協議会による糖尿病医療に係る非専門医から専門医への紹介数の増加への支援」について、「前年度より増加させる」という目標が設定されている。令和4年度から令和5年度、令和5年度から令和6年度にかけて減少しているが、これがA評価である根拠は何か。

[医大]

本指標については、単年度ごとの評価を点数化し、その平均点から期間評価を決定することとしている。

[松村委員]

承知した。

[町田委員]

指標によって評価方法が異なるため、指標ごとの評価方法がわかる資料があると評価がしやすい。

[医大]

指標ごとの評価方法がわかる資料を作成し、後日提供する。

[松村委員]

資料1 22 ページ「①臨床研究中核病院の承認を得る」について、中期目標策定後に承認要件が厳しくなったこともあり、C評価とされたと推測するが、当初の承認要件では達成できていたのか。

[医大]

当初の承認取得目標は令和4年度であったが、承認要件が厳しくなったことにより令和6年度の承認取得に中期計画を変更したが、承認取得には至らなかったため、C評価としている。なお、当初の承認要件であっても達成できていたとは明確には言えない。

[松村委員]

承認を取得することが価値目標ではなく、取得に向けた取組や体制構築が価値目標なので、その部分は実施されており、B評価は妥当である。

[垣内委員長]

臨床研究中核病院の承認を得る課程で、新型コロナウイルス感染症の影響はあったのか。

[医大]

直接的に新型コロナウイルス感染症の影響があったとは言えない。

(2) 役員報酬等の支給基準の変更について

- ・法人より「資料2 公立大学法人奈良県立医科大学役員に対する報酬等の支給基準の変更について」の説明

[垣内委員長]

業績反映分については、どのように検討されているのか。

[医大]

経営改善や働き方改革への取組、職員のモチベーションなど、さまざまな要因を踏まえて検討している。

[竹田委員]

一般職員も同様に3月支給分があるのか。

[医大]

一般職員も役員同様に3月支給分がある。

【医大退出後、評価委員の意見交換会】

[垣内委員長]

令和5年度と令和6年度は年度評価を行っていないが、それ以前は、新型コロナウイルス感染症を考慮した評価と考慮しない評価を行っていた。今回6年間の評価を行うということで、新型コロナウイルス感染症を考慮した評価と考慮しない評価の二本立てで行いたいと思うが、よろしいか。

(委員意見なし)

では、令和4年度以前と同様に、二本立てで評価をしていくこととする。

・事務局より、以下3点について説明。

「参考資料3 評価できる取組・課題 選定の考え方」

「参考資料5 第3期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果(案)」

「参考資料6 第3期中期目標期間の業務の実績に関する評価表」

[松村委員]

今まで単年度評価をしており、今回は6年間の総括評価を行うこととなる。単年度評価をもとに機械的に評価を算出することができるのではないか。改めて委員が意見を述べて評価を行う要素があれば教えてほしい。

[垣内委員長]

令和5年度と令和6年度は単年度評価を行っていないので、機械的に評価をするのは難しい。医大の自己評価を参考に委員としての評価を行っていただきたい。

[松村委員]

医大の自己評価に沿って評価するのではなく、その評価が妥当かも含めて評価をしていく。

[町田委員]

参考資料5の各価値目標〈参考 評価実績〉について、単年度評価を行っていない令和5年度と令和6年度の2年間の評価実績が記載されていないのが、体裁として気になる。過去実績は【実現目標の実績について】で確認できるので、過去の評価実績を参考として掲載しなくても良いのではないかと。

[垣内委員長]

過去の評価がどうだったかということも資料としては必要と思う。参考の実現目標は、数値目標しか掲載しておらず、定性的な目標は掲載していないため、すべてを参考の表で把握することはできない。

[垣内委員長]

資料1 22 ページ「①臨床研究中核病院の承認を得る」を課題として挙げるかどうか検討の必要があると思う。

[松村委員]

全体的には良くやっていると思うので、どう評価すべきか、検討していきたい。

[垣内委員長]

資料の構成上、達成できていない項目が課題として挙がってきてしまう。資料1 43 ページ「④認定看護師の増加」についても、同様である。

[松村委員]

達成が難しい内容を目標とすることで頑張れたというのは、無駄なことをしたわけではなく、それ自体に価値のあることだと思う。前と比べて良くなったかという基準でみると、良くなっていると思う。

[垣内委員長]

その点も含めて、どう評価していくかを検討していただきたい。

[松村委員]

点数だけを見て評価するのではなく、外的要素も考慮して評価していきたい。